



学校教育目標：【自立と共生】自ら気づき、共に学ぶ、感性豊かな生徒

重点目標：自分の言葉で語り、判断し、行動できる生徒・互いをわかり合い、共に伸びる子

経営目標：本気で取り組み、本物の力とする ～学び合い、わかり合い、高め合う須山中～

豊かな人間性

それは、本気か？本物か？
自分を信じて 前へ

健康・体力

- 自律心を養い、他人とともに協調する
- 人権感覚を高め、温かな心で生活する
- 爽やかな気持ち、感動する心を大切に

Change
Chance
Challenge

- 心身の健康づくりのための自己管理能力の育成
- 体育的行事の充実と推進
- 部活動への積極的な参加

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本 学校経営目標

本気で取り組み、本物の力とする

- 学び合い ～Change Chance Challenge～
根拠を持って自分の考えをまとめ、表現し、伝えることができる
- わかり合い
他の意見や考えを理解し、自分の意見や考えと比較して違いを認めることができる
- 高め合う
よりよい考えを創ろうとする姿勢をもつ

何が身についたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 自分の考えをベースにしなが、他の考えを理解し、比較検討を通して改めて考えをまとめていくことよさをわかっている
- 他の意見と自分の考えをすりあわせながら、協働的に課題解決に向かう姿勢が身についている
- 自分自身、他を受け止め、認め、本気・本物の視点で振り返ることを通して、次のステップへ進む

<生徒の実態>

- 自分の役割を自覚して協力的な活動ができる
- 与えられた課題はしっかりやり遂げようとする
- 須山中生の伝統「挨拶・返事・素早い行動」を実践しようとする

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・情報の共有による個への対応
学習指導、教育相談、進路指導
- ・保護者、スクールカウンセラー、外部機関との連携

<目指す生徒の姿>

- 自分の言葉で語り判断し行動しようとする生徒 <自立>
- 互いをわかり合い、共に伸びようとする生徒 <共生>
- 誰かのために汗を流せる生徒 <感謝・奉仕>

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・見通しや自分の考えをもって学習に臨む 主体性
- ・自分の考えをアウトプットし広げ深める 協働・対話
- ・物事をとらえる見方や考え方を生かす 深い学び
- ・縦割り集団の効果的な活動 乗り越える・共に伸びる

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・授業の中で「一人学び」時間を確保し自分の考えをもつ
- ・聴く→考える→発信する過程で比較検討する
- ・他の考えを理解し自分の考えを再構成する
- ・本物にふれる実体験を通して、感動を味わう

対話で心を鍛える

自己肯定感を高める

基礎学力の向上

実施するために何が必要か ○指導体制の充実（幼小中連携）、家庭・地域との連携・協働

- 幼小中連携をベースにした校内研修体制の充実
- ・義務教育修了時に願う子どもの姿の共有と学びの接続を意識した授業づくり
- ・須山中で育てたい教科横断的資質・能力の検討
- ・幼小中相互の授業公開による交流研修の実施
- ・コミュニティスクールの推進

- 家庭、地域、関係諸機関等との連携を図る
- ・PTA 外郭団体との連携
- ・CSの充実、活性化：連携・協働意識の醸成
- ・地域学習の充実：総合的な学習、キャリア学習における地域資源の活用

安心・安全

幼小中連携スローガン
野の花のようなしなやかさと清らかさをもっている子

開かれた学校作り

- ・個に応じた対応：教育相談、カウンセリング、健康指導
- ・交通安全や不審者対策、防災等に関する学習の充実
- ・「学校いじめ防止基本方針」の周知と徹底

- ・学校ホームページ、学校たより等による学校情報の発信
- ・家庭や地域の評価による教育活動の点検と改善
- ・地域行事への参加、地域への貢献、地域との交流